

平成20年3月(2008年)No.507

## 近江八幡撮影会

### 今年の参加者は13名

#### 玉井氏らが準備風景など撮影

今年の撮影会は例年の5月頃に比べ3月15～16日の近江八幡左義長まつりに設定したため、会員さんの中には予定がたたなかった方も居られたのではないのでしょうか。このところ20名前後の参加者があったのですが、3月9日現在で13名の参加申込となっています。

左義長まつりは古くから伝わる伝統あるまつりで、各町内から、その年の干支にちなんだ「左義長」という、だしものを作って町内をねり歩き、最後は燃やしてしまうというものです。どの町内の左義長が優れているかコンテストがあるそうで、そのため、各町内はマル秘で知恵を絞って作っているようです。今回は縁あって或る町内の左義長の創作過程を玉井、西井の両氏と関世話役が撮影されており、その素材を参加者に提供、参加者はその創作過程を活かしながら祭本番の映像を作品にして頂く、ということになります。勿論、祭り当日の映像だけでまとめるのも自由です。いずれにしてもどうまとめるのか、脚本構成、編集の技が問われることになり作品づくりの良い勉強になることは間違いありません。撮影会は会員間の親睦を深めるイベントであり、作品制作の勉強の場でもあります。このニュースをご覧になる頃は、或いは撮影会は終わっているかも知れませんが、お天気に恵まれ、楽しく、良い撮影会であります様、祈念しております。追記ながら、準備風景撮影のため、寒い夜の撮影(夜8時過ぎから町内の人々が集まって作っています)に何度も通って頂き、ご苦勞をおかけした玉井さんをはじめ、西井さん、それに関世話役に感謝申し上げます(会長)。

### 3月例会のお知らせ

3月例会は第4土曜22日午後6時より、大阪市立難波市民学習センター(JR難波駅上OCATビル4階)にて開催。寒さも和らぎ桜だより聞かれるよい季節です。どうか月1回の楽しい例会にお出掛けください。作品の方もどうぞお忘れなく。

## 安居氏がダブル受賞

◎第19回丹波篠山ビデオ大賞

神戸新聞社賞 「被災犬はいま」

◎ヤマダ電機・群馬テレビ主催

”心に残る故郷ビデオコンテスト”

奨励賞 「都会の故郷・法善寺」

以上2件 安居利次さん

全国的なビデオコンテストに入賞するには大変むづかしいものがありますが、安居さんはコンテストの意図に沿い、作品のねらいを明確に絞って作られているのが評価されているものと思います。安居さんならではの特殊技術も、ねらいを強調し、判り易くするものとして効果を発揮しているのではないかと、そんな気がいたします。秋のOMCフェスティバル出品作として候補作品が多すぎて選ぶのに迷いそうですね。いずれにしても、おめでとうございます。

## 当分、進藤世話役が会計代行

このところ体調をくずされて例会をお休みの森保信会計担当に替り、当分の間、進藤世話役に会計担当をして頂きます。よろしく願いいたします。森さんには今まで大変よくして頂きました。ごゆっくり養生なさって再びお元気なお姿を例会でお会いしたいものと祈念いたしております。

## OVC公開映写会は4月20日

姉妹クラブの大阪ビデオクラブ(OVC)の映像フェスティバルは、4月20日の日曜日 13時より、大阪市立中央会館(地下鉄長堀橋下車5分)にて開催されますのでお知らせしておきます。ご予約ください。

## 新入会員のお知らせ

下記の方が新しく入会されました

◎河口禮志(カグチレイジ)さん

〒565-0825

吹田市山田北15-5-102

TEL 06-6875-6199

河口さんはOMCの8ミリフィルム時代に在籍された方で、お仕事の関係で全国あちこち転勤されており、このほど大阪へ戻ってこられました。よろしく願いします。

## ■今年は久しぶりに市内にも積雪

去る2月9日(土)、大阪市内にも何年ぶりかで雪が積もりました。会員諸氏も、この機会に雪景色を撮影しに出掛けられた方も多いのではないのでしょうか。是非例会で見せて下さい。それにしても今年は寒さが厳しいですね。どうぞ風邪をひかないよう注意なさってください。

## 2月例会のレポート

2月例会は第4土曜23日、午後6時より難波市民学習センターにて開催されました。外は寒さもひとしおの日でしたが、会場は春の陽気のような暖かさ、会員さんの集まりもよく、29名の出席者と16本の作品が上映されました。4対3のSD作品は1本のみ、ワイドが2本、その他はすべてハイビジョンでした。

今月の司会は有村さん、書記、岡本さん、受付兼照明係、渡辺さんと宮崎さん、デッキ係は増池さん、河合さん、江村さんの受持ちで会を進行しました。

◆出席者：有村、天草、井上、江村、岡本、奥、上総、紙本、河合、河口、黒田、合原、関、進藤、玉井、錦、西井、西村、華岡、増池、松本、宮崎、森口、森下、森田、安居、山本、吉岡、渡辺(敬称略)29人と作品本数16本でした。

◆上映作品(今月の記録と講評は岡本世話役です)

### 1. ミナミの新しい顔(W)

増池 茂さん 8分30秒

毎回作品をもって来られる熱意には敬服いたします。この作品は、大阪南の繁華街の道頓堀筋の異常な様変わりを表現されたものと思われませんが、司会者も言われていましたように、ナレーションもテロップもありませんので作者の意図が伝わってきません。まず、ご覧になれる方は不特定多数の方が見られるとするならば、タイトルのミナミの説明もいるでしょう。在阪の方はミナミやキタと言ったら解かりますが、知らない人もおられます。

旧中座の跡地ビルにある「極楽商店街」のレトロな雰囲気や居酒屋、路上芸人さん

のパフォーマンスなどが映し出されますが、以前とどの様に変ったのか対比の映像でもあればよかったかなと思います。

この手の作品は、映像だけで見せようとするならばかなりの労力がいらいます。やはりナレーションが必要でしょう。頑張ってください。

## 2. 雪の貴船路 (W)

森口吉正さん 8分20秒

2月初旬、洛北貴船を訪ねられた作品。雪の貴船路ではあるが、暖冬異変か雨まじりの雪の中の撮影行、傘に雨音がこだまします。貴船川を逆上ったところに貴船神社があります。水との関わりが深く、奥まったところには御神水が湧き出ていて水占みくじの場があります。その水にくじを浮かべると水の霊力によって文字が浮かんでみえるという光景が映っています。森口流ナレーションで拝見しました。寒い中よく行かれました。

## 3. 京都・四条にし・ひがし (HDV)

奥 宏さん 6分30秒

この作品も2月初旬の京都を撮られました。鴨川、先斗町、白川、高瀬川の早春の風情がでています。そして八坂神社の節分祭、前日2日の模様を撮られました。いろいろな角度から撮られているのでお聞きすると3回に分けてカメラを回されたとか。神社前の通りの映像は、車や人が少ないのは、早朝に行かれたようです。

タイトルは「京都・四条 節分のころ」にしたほうが良かったかなと思いました。

## 4. 天平の葺と平城の葺 (HDV)

有村 博さん 8分33秒

昨年11月、唐招提寺の金堂平成大修理見学会に行かれた作品。大屋根には瓦が拭き終わっておりすごい盛観です。天平の鷗尾が間近に見えます。創建以来1250年の風雪に耐え、役目を終えた鷗尾を目の当たりにし感慨ひとしおだったと作者。

午前中に見学を終えた作者、この後平城宮跡の第一次代大極殿復元整備特別公開をご覧になられた。

二度と目の当たりに出来ないこの二つの葺、感慨深く拝見させていただきました。

## 5. 不安は不安 (HDV)

安居利次さん 4分25秒

この作品は、ビデオサロンのBGM映像コンテスト(3月20日締め切り)応募用に作られたもの。コンテストサイトから曲をダウンロードし、その曲を使い、イメージに合った映像作品を作ろうというもの。

この作者は、ご自分の人生の不安を仮定して映像を作られました。過去の体験も交えて、もしもこんな病気になったらとか、神様、仏様か、運命として諦めるか。まあ誰も思っていることかも知れませんが、それにしても曲にぴったしの作品でした。おもいきりミスマッチの方がよいとの意見もでました。よかったです。

## 6. イルミネーション神戸 (HDV)

井上勝彦さん 8分47秒

神戸を撮り続けている作者。昨年暮れの神戸の夜景をまとめられました。明石海峡大橋の夜景からはじまります。神戸港、メリケンパーク、そしてクルーズ船、コンチエルト、ルミナス神戸の電飾があざやかです。それから北野町、旧慰留地、最後は神戸ルミナリエのイルミネーション。バッハの曲にせて神戸の雰囲気がよくでていました。

## 7. スコータイ遺跡 (HDV)

森田光春さん 9分30秒

タイの首都バンコクから北へ450 Kmのスコータイ遺跡へ今年の9月に行かれました。石やレンガや紅土で築かれた仏塔や仏像、仏堂の台座や支柱が古えの姿を伝えています。都の中核をなす王室寺院があるワット・プラ・マハタート。マハタートの前の池で魚をとる少年。12世紀末に建てられたという、トーモロコシのような形の3基の仏塔が異彩を放つワット・シーサワイ。ワット・シーチュムにはタイ最大級の高さ15 mの壁に囲まれた大仏が鎮座する。大仏の滑らかな曲線が美しい。最後はスコータイの青年団の民族舞踊です。

ナレーションをいれられて分かりやすい作品になりました。

## 8. うらじゃ祭り (HDV)

江村一郎さん 6分20秒

よさこいおどりを撮り続けている作者。今回は岡山に出掛けられました。桃太郎ま

つりともいわれている「うらじゃ祭り」顔にメイクをした踊り子たちのよさこい風の踊りです。よく探されていられました。うら（温羅）とは鬼の意味らしい。

うまくまとめられています、やはり本場のよさこいの方が迫力があますね。

#### 9. 達谷窟物語 (HDV)

紙本 勝さん 9分25秒

このタイトルは「たっこくいわやものごと」と読むらしい。この作者は、いろいろなところに出かけて撮影されてきます。そしてよく調べられています。

ここは、岩手県西磐井郡平泉町、中尊寺から西南へ7 Kmのところにある「達谷窟毘沙門堂」。坂上田村麻呂が蝦夷平定の際、毘沙門天の加護を謝して京の清水寺を模して建立されると言われているそうです。

ナレーションで詳しく述べられておられます。後は省略させていただきますが、歴史を紐解いてよく作られました。

#### 10. 雪の大神山 (HDV)

西井 学さん 5分00秒

滋賀県大津市の南東標高609 mの田上(たなかみ)山地の太神山の山頂にある不動寺の節分行事を撮影されたもの。雪のふる中、行者たちの祈りと、護魔供養の様を撮られました。寒い中カメラをさげて登山されました。

#### 11. 白山初冠雪の頃 (HDV)

河合源七郎さん 7分16分

10月19日に白山に行かれた作品。

白山の晩秋の景色を撮られています、なぜか雨のシーンから始まります。雨音が気になると司会者が言われました。それから青空になります。紅葉がきれいですが、バックの山頂の冠雪のシーンが2カットでくるだけで、作品としてはバラバラでものたらない気がします。雨のシーンはいらぬのではないのでしょうか。BGMもちょっと暗い感じがします。

#### 12. 霧氷に惹かれて (HDV)

進藤信男さん 4分52秒

冬の高見山への登山の様を撮影された作品です。登山者のカラフルな服装と青空と樹氷のコントラストがとてもきれいでした。アップがほしかったと司会者の意見で

した。

#### 13. 私の町の秋 仲よし会の記録 (HDV)

宮崎紀代子さん 9分39秒

先月の例会にもってこられた作品をその時の意見を参考に改作されたもの。

作者のお住まいである富田林市加太町の出来事を作品にされたもの。タイトルが前回の「加太町界限」から「仲よし会の記録」変えられました。テーマを絞られた分大変よくなりました。4:3の映像をうまくいれられましたと司会者の意見です。

#### 14. 乗客のいない船 (HDV)

山本正夢さん 7分00秒

このタイトルからしてどんな作品だろうと興味深々と拝見させていただきました。

中央アジアの独裁国家といわれるトゥルクメニスタンのバシュ港からアゼルバイジャンの首都バクーへ渡るカスピ海の船旅の様です。乗船が18時、出港が翌朝の6時。船はオイル貨車を運ぶ大型フェリー客は作者のご家族2人と他2人の合計4人船内は、売店、食堂、食料、水、人影なし到着は20時、下船が明朝の2時だったとか。この様子を克明に撮られました。

作者はなにも知らずに乗船されたとか。水1リットルで35時間過ごされたようです。こんな船旅はじめて聞きました。

ただ、他の乗客の方の会話や映像がほしかったなと思いました。お疲れ様でした。

#### 15. 大阪光のルネッサンス (HDV)

天草 稔さん 6分11秒

毎年おこなわれている大阪市役所周辺の光のページェントを撮られました。

なかなかうまくまとめられてよかったです。

#### 16. 神戸南京町春節祭 (HDV)

錦 務さん 13分35秒

神戸の中華街の春節祭の様を撮られました。雑踏の中をたくさん撮影されましたが、いらぬカットがたくさんありますので、まずテーマを決めて、そのテーマから外れる映像はカットします。いる映像は短くして整理されるとよくなると思います。折角の映像です。挑戦してみてください。

以上で上映を終え喫茶組と居酒屋組に別れて二次会を楽しみました。